

付 録

Web 公開情報 (2007年3月31日現在)

名 称	URL	備 考
土壌モノリスデータベース	http://www.niaes.affrc.go.jp/inventory/soil/monolith/index.htm	一部公開
土壌モノリス作成法改訂版	http://www.niaes.affrc.go.jp/inventory/soil/Document/method.pdf	一般公開
土壌保全調査事業等優良成果	http://www.niaes.affrc.go.jp/inventory/soil/TEITENSokuho/index.html	一般公開
土性図目録	http://www.niaes.affrc.go.jp/inventory/soil/Document/Fesca.pdf	一般公開
農耕地土壌分類 (第三次改訂版)	http://www.niaes.affrc.go.jp/inventory/soil/laboratory/Informations.html	一般公開
農耕地土壌分類 (第三次改訂版)英語版	http://www.niaes.affrc.go.jp/inventory/soil/Document/Classification.pdf	一般公開
農環研標本館所蔵タイプ標本データベース	http://www.niaes.affrc.go.jp/inventory/insect/inssys/typelst.htm	一部公開
三橋ノート画像データベース	http://www.niaes.affrc.go.jp/inventory/insect/inssys/m_note01.html	一部公開
日本産オオアブラムシ属のチェックリスト及び種の検索表	http://www.niaes.affrc.go.jp/inventory/insect/key_cinara/main.htm	一般公開
日本産ヒョウタンカスミカメ族の図説検索	http://www.niaes.affrc.go.jp/inventory/insect/illust_keys/pilophorini/key_pilophorini01.html	一般公開
マメハモグリバエ寄生蜂の図説検索	http://cse.cryo.affrc.go.jp/konishi/main.htm	一般公開
微生物インベントリー (<i>microForce</i>)	http://www.niaes.affrc.go.jp/inventory/microorg/index.html	一般公開
農業環境技術研究所所蔵微生物さく葉標本目録	http://www.niaes.affrc.go.jp/inventory/microorg/specimen/index.html	一般公開

名 称	URL	備 考
日本野生植物寄生・共生 菌類目録（日本語版）	http://www.niaes.affrc.go.jp/inventry/microorg/mokuroku/mokuroku.html	一般公開
同（英語版）	http://www.niaes.affrc.go.jp/inventry/microorg/eng/mokuroku-e.html	一般公開
日本産糸状菌類図鑑（日本語版）	http://www.niaes.affrc.go.jp/inventry/microorg/mokuroku/zukan.html	一般公開
同（英語版）	http://www.niaes.affrc.go.jp/inventry/microorg/eng/zukan-e.html	一般公開
農業環境用語事典	http://www.niaes.affrc.go.jp/inventry/center/glossary/index.html	一般公開
農業環境モニタリングマニュアル	http://www.niaes.affrc.go.jp/inventry/center/mmanual/index.html	一般公開
植物の金属元素含量に関するデータ集録	http://www.niaes.affrc.go.jp/inventry/center/hvymetal/index.html	一般公開

NRICセミナー講演要旨

第1回 5月17日

1) 土壌資源情報システム

Soil Resources Information System

中井 信

インターネットで、土壌図を地形図上に重ねて表示し、全国土壌調査の統計情報を表示できるシステムを前中期計画中に作成した。このシステムには、新たなデータの入力機能ももっており、全国調査におけるデータの迅速確実な収集をすることができる。さらに、農耕地土壌分類第3次改訂版による土壌分類プログラムも利用でき、正確な断面記載と理化学性分析値があれば、土壌分類も可能である。

2) 農業統計メッシュデータを用いた窒素負荷量の推定

Estimation of Nitrogen load using Agricultural Census Mesh Data

神山 和則

農業センサスデータと国土数値情報を利用して農業統計をメッシュ化する手法を開発した。このメッシュデータを利用して農業、特に畜産に由来する窒素負荷量を1kmメッシュ単位で推定するとともに集水域単位に集計し、河川水のN濃度と比較した。

第2回 6月21日

1) 国際リン酸集会参加報告および有機農業ほ場の調査結果

Report of International Phosphate Conference and the Result of Soil Survey in Organic Upland Farm

三島 慎一郎

ブラジル・ウベルランジアで行われた国際リン酸集会での発表のハイライトとエクスカージョンツアー+ α について報告する。また、今年度行う予定の鯉淵学園有機農業ほ場に関する研究の第一段階としての土壌調査の結果を報告する。

2) ヤマノイモコガ類（チョウ目，アトヒゲコガ科）の分類と食性について

Host plants of some Acrolepiopsis species (Lepidoptera, Acrolepiidae)

安田 耕司

ヤマノイモコガは従来より「ナガイモ」の害虫とされていたが、ヤマノイモコガと思われていた種は実際には別種であり、ヤマノイモコガがナガイモに寄生することを示す明かな証拠は見つかっていない。そこで、野生ヤマノイモ類での寄生状況を調査したので、その結果と近縁種ヤマノモコガムカゴコガとの関係について紹介する。

第3回 7月19日

1) 戦略的環境影響評価 (SEA) に農業環境指標をどう入れ込むか

Agri-Environmental Indicators and Strategic Environmental Assessment [SEA]

大倉 利明

本年5月22日から27日まで、ノルウェー国スタバンガーにて開催された、第26回国際影響評価学会への参加報告と、諸外国・機関のSEA、その中でも農業関連への取り組みについて、農業環境指標の策定および利活用の観点から報告する。

2) 水田における農薬の動態予測モデルを活用し、環境リスク指標の策定を図る

Simulation model for predicting pesticide behavior in paddy rice environment and environmental risk indicator for pesticide use

稲生 圭哉

これまでに開発した水田における農薬の動態予測モデル(PADDY)を紹介し、本モデルを活用した農薬使用に伴う環境リスク(魚類、甲殻類および藻類などの水生生物に対する影響)指標の策定に向けた取り組みを紹介する。

第4回 9月20日

1) カスミカメムシと分類学的新知見

Introduction of Mirid Bugs and its Taxonomic Topics

中谷 圭哉

カスミカメムシ類には斑点米を引き起こすなど、重要な農業害虫がいる一方で、ウンカの天敵など捕食性のものもいるなど、多様な種で構成されるグループである。半翅目におけるカスミカメムシ科の位置や形態的特徴、ならびに近年得られた分類学的新知見について紹介する。

2) インベントリーシステムのプロトタイプ

Prototype Information System for Natural Resources Inventory

上田 義治

農業環境に係わる異なる分野の情報を、地理情報システム(GIS)を共通の基盤として、情報の高度利用に役立てるためのインベントリーシステムの開発を目指している。土壌・昆虫・微生物の標本情報を対象として開発してきたプロトタイプの紹介と今後の課題について発表する。

第5回 10月18日

1) アジア産ヤガ科の系統分類学的研究の現状と問題

The Present Situation of the Systematic Studies of Asian Nuctuid Moths and Problems

吉松 慎一

日本産のヤガ科は現在約1,300種が知られており、最も多くの種を含む科である。世界のヤガ科としては、Poole(1989)のLepidopterorum Catalogus, Noctuidaeには約38,000種(亜種とシノニムを含む)が掲載されており、Lepidopterorum Catalogus シリーズ全体のおよそ40%の分量

であるという。このカタログの後、多数の新種が書かれ、また新しい分類学的知見がもたらされているが、アジアにおいては調査が十分な地域と不十分な地域には大きな偏りがある。セミナーではアジアのヤガの分類の現状を紹介するとともに問題点や今後の研究課題などについても考えてみる。

第6回 11月15日

1) 牛久沼流域における広域土壌侵食量推定法の開発

Development of Determination Method for Soil Erosion in Ushiku-lake Watershed

谷山 一郎

土壌侵食量の定量は、枠内の畑面と流出土砂を溜める貯留タンクから構成される傾斜ライシメータを使用して行われるが、面積は30m²程度で、ほ場の実態を反映しているとは言い難い。そこで、牛久沼を貯留タンクに見立てて、流域の土壌侵食量を推定する方法の開発を試みた。牛久沼底質の堆積速度は¹³⁷Cs放射能濃度から、侵食量の土地利用別割合はダイオキシン類組成を用いたエンドメンバーズ法から推定した。その結果、牛久沼流域では学園都市造成に伴う大量の土壌侵食が発生したことが示唆された。

2) 土壌生成過程における元素の動態

Behavior of Elements in Pedogenic Processes

戸上 和樹

土壌は、地表の様々な環境の組み合わせの下で土壌の材料となる母材から生成し、それに伴い土壌中に存在する元素も移動集積する。そこで、一連の地形連鎖系にある段丘土壌における元素分布と土壌生成作用との関連について報告する。

第7回 12月5日

1) ザンビアの土壌と研究体制

Characteristics of Zambian Soil and National Soil Survey Activity

Benson D. Sokotela (Zambia Agriculture Research Institute)

Introducing some unique characteristics of soils in Zambia and constraints in agriculture use. Recent research suggested the occurrence of sulphur deficiency strongly dependent on the major soil forming factors, ie. parent material and precipitation. The speaker also introduce the soil survey and soil resources inventory activity at Zambia.

研修会：土壌調査法現地研修会

共 催：農業環境技術研究所、土壌保全調査事業全国協議会、(財) 日本土壌協会

日 時：平成18年度8月17日(木)～18日(金)

場 所：愛知県豊橋市

参加者：54名(大学1名、独法3名、31都道府県農業試験場48名、土壌協会2名)

日 程：

8月17日(1日目)

13:00豊橋駅集合・出発

バス車内説明 豊橋管内の農業

半田主任専門員(東三河農林水産事務所)

13:45～15:00 土壌調査法：東赤沢町(赤色土)

中井 信・大倉利明(農業環境技術研究所)

15:00～15:30 移動・万場調整池見学

15:30～17:00 土壌調査法：大崎町(灰色台地土)

中井 信・大倉利明(農業環境技術研究所)

17:20 ホテル着

8月18日(2日目)

会場/ホテル日航豊橋・桃の間

「野菜産地における根圏環境と土壌調査法」

9:00～ 9:05 あいさつ

日高 伸(土壌保全調査事業全国協議会長)

9:05～ 9:10 あいさつ

猪股敏郎(日本土壌協会専務理事)

9:10～10:10 赤黄色土の生成起源

中井 信(農業環境技術研究所上席研究員)

10:10～10:20 休憩

10:20～11:05 鉍質畑土壌の改良と栽培技術

木下忠孝(愛知農総試東三河農業研究所長)

11:05～12:20 土壌環境と作物根の発育と機能

山内 章(名古屋大学生命農学研究科教授)

12:20～12:30 まとめ



土壌調査法の現地研修



講義

研究成果の発表

(1) 査読論文

表 題	著 者	発表誌名 (出版元)	巻 (号)	頁	発行 年月
奄美群島で発生が確認された マンゴーの害虫	安田耕司	九州病虫害研究 会報	52	60- 65	2006. 10
農林有害動物・昆虫名鑑 - 増 補改訂版	安田耕司・平井一男・ 松井正春・宮崎昌久・ 吉松慎一・中谷至伸	農林有害動物・ 昆虫名鑑 - 増補 改訂版		1- 387	2006. 6
わが国の食飼料システムにお ける 1980 年代以降の窒素動 態の変遷	織田健次郎	日本土壤肥料学 会誌	77 (5)	517- 524	2006. 10
わが国の食飼料供給に伴う窒 素の動態に基づく環境負荷発 生構造の解析	織田健次郎	日本土壤肥料学 会誌	77 (6)	627- 634	2006. 12
家畜ふん尿の処理物別、仕向 先別の肥料成分量の推定	神山和則	日本土壤肥料学 雑誌	77 (3)	283- 291	2006. 6
Fungivory of <i>Anatatha lignea</i> , an interesting habit in Noctuidae (Lepidoptera)	Shin-ichi Yoshimatsu	Entomological Science	9 (3)	319- 325	2006. 9
日本産ボクトウガ科 <i>Cossus</i> 属 3 種の生態	吉松慎一	森林防疫	56 (1)	5- 9	2007. 1
家畜ふん堆肥と化学肥料を併 用したキャベツ栽培試験圃場 における硝酸態窒素の現存量 評価	大倉利明・戸上和樹・ 神山和則・中井 信	群馬県農業技術 センター研究報 告	4	3- 4	2007. 3
Recent trends in N and P ₂ O ₅ use and balance on Japanese farm- land	Shinichiro Mishima, Satoru Taniguchi, Mitsuo Komada	Soil Science and Plant Nutrition	52 (4)	556- 563	2006. 8
The minute pirate-bug genus <i>Xylocoris</i> Dufour (Hemiptera: Heteroptera: Anthocoridae) from rice mills in Thailand	Yukinobu Nakatani	Proceedings of the Entomological Society of Washington	108 (3)	525- 533	2006. 6

(2) その他の論文等

表題	著者	表誌名 (出版元)	巻 (号)	頁	発行 年月
土壌侵食	谷山一郎	土壌を愛し,土 壤を守る - 日本 の土壌, ペドロ ジー学会 50 年 の集大成 -		359- 364	2007. 3
農業環境インベントリー研究 の次のステップ	谷山一郎	インベントリー	5	1	2006. 8
農業環境インベントリー展示 館	谷山一郎	インベントリー	5	38- 39	2006. 8
土壌環境基礎調査データを基 に玄米中のカドミウム濃度と 土壌理化学性との関係解明	中井 信・戸上和樹	農耕地土壌のカ ドミウムによる 農作物汚染リス ク予測技術の開 発に関する研究 成果集		27- 30	2005. 12
日本の代表的な土壌を一覧で きる土壌モノリス館	中井 信	圃場と土壌	38 (4)	16- 21	2006. 4
農耕地土壌調査の現状と課題	中井 信	農業	1487	31- 42	2006. 11
土壌図と土壌情報	中井 信	土壌を愛し,土 壤を守る - 日本 の土壌, ペドロ ジー学会 50 年 の集大成 -		372- 373	2007. 3
土壌モノリスの収集目録及び データ集	中井 信・小原 洋・ 戸上和樹	農業環境技術研 究所資料	29	1- 118	2006. 3
研究の動向	中井 信・大倉利明・ 谷山一郎	平成 17 年度土 壤保全対策事業 成績検討会資料		1- 7	2006. 5
重金属汚染リスクのゾーニン グマップ作成マニュアル	中井 信・戸上和樹	インベントリー	5	24- 25	2006. 8
土壌モノリス館	中井 信・大倉利明・ 戸上和樹	インベントリー	5	40- 46	2006. 8
赤黄色土の生成起源	中井 信	土壌調査法現地 研修会資料		39- 46	2006. 8
インベントリーシステムのプ ロトタイプ	上田義治・大倉利明・ 中谷至伸・小板橋基夫	インベントリー	5	20- 23	2006. 8

表題	著者	発表誌名 (出版元)	巻 (号)	頁	発行 年月
昆虫文献目録「三橋ノート」 の画像データベース	安田耕司・吉松慎一・ 中谷至伸・上田義治	インベントリー	5	6- 7	2006. 8
処理形態と仕向け先別にみた 家畜ふん尿中の肥料成分量の 推定	神山和則	圃場と土壌	38 (9)	23- 28	2006. 9
パソコンで楽々ふん尿利用計 画 - 環境に配慮した酪農のた めのふん尿利用計画支援ソフ ト「AMAFE2006」	神山和則	酪農ジャーナル		23- 25	2006. 6
環境に配慮したふん尿利用計 画をパソコンで - 意志決定支 援ソフト「AMAFE2006」の 概要	神山和則	牧草と園芸	54 (4)	1- 6	2006. 7
停滞水成土	神山和則	土壌を愛し、土 壌を守る - 日本 の土壌、ペドロ ジー学会 50 年 の集大成 -		65- 67	2007. 3
大家畜生産におけるバイオマ ス量推計モデル	神山和則	バイオマス利活 用システムの設 計と評価		198- 204	2006. 3
アマミノコメセダカヨトウ 5-6月の記録と斑紋変異	吉松慎一	蛾類通信	241	285- 286	2006. 12
未知であったスソミダレアツ バ雄の形態	吉松慎一	蛾類通信	242		2007. 1
農業環境技術研究所・標本シ リーズ 2: 佐藤力夫コレクション	吉松慎一・安田耕司・ 中谷至伸	インベントリー	5	47- 48	2006. 8
A soil inventory concept bridging human society and ecosystem	Toshiaki Ohkura	06IAIA Stavanger CD Edition			2006. 7
土壌・生物インベントリー情 報の環境アセスメントへの活 用	大倉利明	環境アセスメン ト学会 2006 年 度研究発表会要 旨集		74- 78	2006. 9

付録：研究成果の発表

表題	著者	発表誌名 (出版元)	巻 (号)	頁	発行 年月
Characteristics and classification of Andosols derived from Fuji volcano.	Toshiaki Ohkura	Proceedings- International Symposium on volcanic ash soils		75- 80	2006. 3
インベントリーシステムの現状と展望	大倉利明	インベントリー	5	2- 5	2006. 8
持続可能な生産と農業環境評価	大倉利明	群馬県農業技術 センター環境セ ミナー資料		1- 16	2006. 7
土壌資源インベントリーについて	大倉利明	北海道農業研究 センターセミナー資料		1- 12	2006. 11
Soil Environment	Toshiaki Ohkura	国際保健コース 資料		1- 31	2006. 12
Agriculture and soils in South East Asia	Toshiaki Ohkura	JICA 集団研修 (土壌診断コー ス) 資料		1- 33	2006. 7
技術を基盤とする国際協力戦略	大倉利明	講座「地球市民 を目指す」資料		1- 20	2006. 5
命を育む土の話	大倉利明	北東京生活クラ ブ生協環境学習 会資料		1- 18	2006. 6
環境保全型農業の推進方策と課題	大倉利明	群馬県農業技術 センター研究交 流会資料		1- 13	2006. 3
Simulating the effect of field management practices on changes in soil organic carbon pools using Coupled SWAT/Roth-C Model	Yasumi Yagasaki, Toshiaki Ohkura, Makoto Nakai	International Conference on Dryland Studies and Combating Desertification			2006. 8
土壌調査法	大倉利明	土壌保全調査事 業現地研修会資 料		1- 38	2006. 8
農薬の環境動態から「減農薬」の意義を考える	稲生圭哉	群馬県農業技術 センター 環境 セミナー		1- 26	2006. 7

表題	著者	発表誌名 (出版元)	巻 (号)	頁	発行 年月
下水汚泥コンポストの重金属含有率の傾向と利用における問題点の評価	三島慎一郎	再生と利用	113	34-37	2006.9
異なる農業生産構造を持つ二つの集水域の河川水質と農業由来の面源負荷の要因の関係	三島慎一郎	「瀬戸内海流域から海洋への陸域起源物質の不均一・非定常な流出機構の定量的評価」講演会資料			2007.2
日本産ヒョウタンカスミカメ属の Web 図説検索表	中谷至伸	インベントリー	5	26-27	2006.8
地形連鎖系にある土壤中の元素分布	戸上和樹	所議報告 5 月 23 日			2006.5

(3) 口頭発表

表 題	著 者	発表誌名 (出版元)	巻 (号)	頁	発 行 年月
農業を巡る環境の情報を発信する	谷山一郎・上田義治	農業環境研究所研究成果発表会 2006		39-46	2006.9
農業環境インベントリーの社会的活用	谷山一郎	日本土壌肥料学会講演要旨集	52	204	2006.9
農耕地土壌特性の変動 - 定点調査 5 巡目までのとりまとめ速報	中井 信	日本土壌肥料学会講演要旨集	52	109	2006.9
Web-GIS を用いた農業環境資源情報システム	上田義治	日本情報地質学会シンポジウム 2006 - Web-GIS による公開情報活用とその促進環境 - 講演論文集		21-22	2006.12
環境に配慮した酪農のためのふん尿利用計画支援ソフト AMAFE - その 1 「AMAFE 2006」の概要と演算論理	神山和則	日本土壌肥料学会講演要旨集	52	136	2006.9

付録：研究成果の発表

表題	著者	発表誌名 (出版元)	巻 (号)	頁	発行 年月
環境に配慮した酪農のための ふん尿利用計画支援ソフト AMAFE - その2「AMAFE 2006」の現地導入効果	神山和則	日本土壌肥料学 会講演要旨集	52	136	2006. 9
群馬県片品村扇状地における 精密土壌図作成のための深層 土壌調査	大倉利明・戸上和樹・ 神山和則・中井 信	日本ペドロロジー 学会 2006 年度 大会講演要旨集		34	2006. 3
包括的土壌分類体系について	大倉利明・中井 信・ 戸上和樹・谷山一郎	日本土壌肥料学 会講演要旨集	52	109	2006. 9
モデリング・シミュレーショ ン手法による長期圃場試験に おける土壌炭素濃度時系列変 動の予測 - Soil Water Assessment Tool (SWAT) への RothC-26.3 の統合とその性能 検証	矢ヶ崎泰海・大倉利明・ 中井 信	日本土壌肥料学 会講演要旨集	52	15	2006. 9
Recent trend of phosphate use and balance in Japan	Shinichiro Mishima, Satoru Taniguchi, Mitsuo Komada	3rd International Symposium Phosphorus Dynamics in Soil-Plant Continuum		176- 177	2006. 5
都道府県・市町村単位での養 分収支を算出するデータベー スシステム	三島慎一郎	平成 18 年度家 畜ふん尿処理利 用研究会 - 畜産 における環境影 響評価とその利 活用 -		95- 98	2006. 10
わが国の農耕地土壌への窒素 フローと環境負荷ポテンシャル	三島慎一郎	日本土壌肥料学 会講演要旨集	52	215	2006. 9
水田地帯と畜産地帯での余剰 養分の発生量と河川水質	三島慎一郎	日本生態学会			2007. 3
深層土壌調査による連用圃場 土壌の評価	戸上和樹・大倉利明・ 神山和則・中井 信	日本ペドロロジー 学会講演要旨集		35	2006. 3
段丘土壌における元素組成一 土壌生成過程の元素の動態	戸上和樹・中井 信	日本土壌肥料学 会講演要旨集	52	107	2006. 9

(4) データベース等

表 題	著 者	発表誌名 (出版元)	巻 (号)	頁	発行 年月
J-SWAT (シミュレーション ソフトウェア)	矢ヶ崎泰海・大倉利明・ 中井 信				2006. 8
養分収支に基づく土壌への有 機物投入評価とその手法	三島慎一郎	食品循環資源最 適利用マニユア ル		351- 355	2006. 7
土壌環境調査法	中井 信	水環境保全ため の環境モニタリ ングマニユアル 改訂版		37- 43	2006. 3
土壌断面調査法	中井 信	水環境保全ため の環境モニタリ ングマニユアル 改訂版		44- 49	2006. 3
土地利用現況調査法	神山和則	水環境保全ため の環境モニタリ ングマニユアル 改訂版		57- 62	2006. 3
農業活動状況と農業資材投入 量調査	三島慎一郎	水環境保全ため の環境モニタリ ングマニユアル 改訂版		57- 62	2006. 3
農地養分収支調査法	三島慎一郎	水環境保全ため の環境モニタリ ングマニユアル 改訂版		57- 62	2006. 3
集水域における作目別養分収 支調査例	三島慎一郎	水環境保全ため の環境モニタリ ングマニユアル 改訂版		57- 62	2006. 3

付 録

研究協力・交流

(1) 国外での研究交流等

氏名	出張国	活動内容	期 間
三島慎一郎	ブラジル（ウベルランディア）	第3回リン酸動態に関する国際シンポジウムに出席	18. 5. 12～21
大倉利明	ノルウェー（スタバンゲル）	第26回国際影響評価学会に会議に出席	18. 5. 22～27

(2) 国際研究協力

氏 名	所 属	研究課題	期 間
Benson D. Sokotela	Zambia Agriculture Research Institute	ザンビアの土壌分類と土壌肥沃度管理	18. 12. 4～5

(3) 依頼研究員

氏 名	所 属	研究課題	期 間
玉嶋勝範	大分県農林水産研究センター	チョウ目、カメムシ目等の害虫および土着天敵の分類・同定法	18. 9. 25～ 12. 22

(4) 技術講習生

氏 名	所 属	研究課題	期 間
住田正雄	神戸植物防疫所	ハマキガ科ほか小蛾類の同定識別技術の習得	18. 10. 3～ 11. 2
上田智子	埼玉県農林総合研究センター園芸研究所	野菜類に寄生するアザミウマ類の同定法の習得	18. 12. 20～ 19. 3. 30
大森誉紀	愛媛県農業試験場	愛媛県デジタル土壌図を活用した主題図作成	19. 3. 3～9

(5) 講師派遣等

氏 名	講師派遣の内容	依頼者	期 間
中井 信	土壌調査法現地研修会講師	土壌保全調査事業全国協議会	18. 8. 17～18
大倉利明	群馬県農業技術センター環境セミナー	群馬県農業技術センター	18. 7. 21
大倉利明	北海道農業研究センターセミナー	北海道農業研究センター	18. 10. 24
大倉利明	国際保健コース資料	国立保健医療科学院	18. 12. 6
大倉利明	JICA集団研修（土壌診断コース）	JICA	18. 7. 30
大倉利明	講座「地球市民を目指す」	明治大学	18. 5. 9

氏名	講師派遣の内容	依頼者	期間
大倉利明	北東京生活クラブ生協環境学習 会資料	北東京生活クラブ生協	18. 6. 28
大倉利明	群馬県農業技術センター研究交 流会	群馬県農業技術センター	18. 3. 7
大倉利明	土壌保全調査事業現地研修会	土壌保全調査事業全国協議会	18. 8. 17～18
大倉利明	北陸土壌肥料研究会	機構・中央農研北陸研究セン ター	19. 1. 13
大倉利明	土壌実態研修会	群馬県利根農業事務所	19. 3. 9
三島慎一郎	「瀬戸内海流域から海洋への陸 域起源物質の不均一・非定常な 流出機構の定量的評価」講演会	広島大学	19. 2. 17
稲生圭哉	群馬県農業技術センター 環境 セミナー	群馬県農業技術センター	18. 7. 21

(6) 外部委員会委員等

氏名	委嘱・応嘱先	委嘱・応嘱名	期間
谷山一郎	農林水産省	「産学官連携による食料産業等 活性化のための新技術開発事業 研究推進会議委員	18. 4. 1～
谷山一郎	農林水産省関東農政局	「土壌保全対策事業関東ブロッ ク会議」専門委員	18. 4. 1～
谷山一郎	農林水産省九州農政局	「土壌保全対策事業九州ブロッ ク会議」専門委員	18. 4. 1～
谷山一郎	群馬県	「試験研究課題事前評価会」委 員	18. 10. 1～
上田義治	農林水産省	共済組合筑波支部運営委員会	18. 4. 1～
中井 信	農林水産省 東北農政局	土壌保全対策事業北海道・東北 ブロック会議	18. 4. 1～
中井 信	農林水産省 中四国農政局	土壌保全対策事業中国・四国ブ ロック会議	18. 4. 1～
中井 信	農林水産省 生産局	土壌・施肥管理システム開発 委員会	18. 4. 1～
中井 信	農林水産省	環境調和型草地開発整備手法確 立調査事業検討委員会	18. 4. 1～

氏名	委嘱・応嘱先	委嘱・応嘱名	期間
中井 信	環境省	温室効果ガス排出量算定方法検討会吸収源分科会	18. 4. 1～
中井 信	青森県	放射性物質形態別移行調査検討委員会	18. 4. 1～
大倉利明	農林水産省	土壌保全対策事業関東農政局	18. 4. 1～
大倉利明	農林水産省	土壌保全対策事業北陸農政局	18. 4. 1～
大倉利明	農林水産省	土壌保全対策事業近畿農政局	18. 4. 1～
大倉利明	アドバイザー	土壌保全調査事業全国協議会	18.10.1～
神山和則	滋賀県	環境こだわり農業環境影響調査事業調査検討委員会	18. 4. 1～
神山和則	農林水産省	環境に配慮した草地管理に係わる調査委託事業における環境保全調査・作業検討委員会	18. 4. 1～
神山和則	農林水産省	草地管理指標改訂調査検討委員会	18. 4. 1～
神山和則	農林水産省	環境調和型草地開発整備手法確立調査事業における検討委員会	18. 4. 1～
神山和則	農林水産省	新たな農業生産環境施策確立調査事業における検討委員会	18. 4. 1～

(7) 学会委員等

氏名	学会名	委員等名	期間
谷山一郎	土壌物理学会	副会長	17. 4. 1～
中井 信	日本ペドロロジー学会	評議員	16. 4. 1～
大倉利明	日本ペドロロジー学会	幹事	16. 4. 1～
大倉利明	日本ペドロロジー学会	評議員	18. 4. 1～
神山和則	日本土壌肥料学会	第5部門長	18. 4. 1～
神山和則	日本ペドロロジー学会	会計監査委員	18. 4. 1～
戸上和樹	日本ペドロロジー学会	会計幹事	17.11. 1～
戸上和樹	森林立地学会	会計監査委員	16. 4. 1～
安田耕司	日本応用動物昆虫学会	農林有害動物・昆虫名鑑増補改訂版編集委員会, 委員長	13. 5. 1～
吉松慎一	日本応用動物昆虫学会	学術用語委員会	15. 1. 1～
吉松慎一	日本応用動物昆虫学会	農林有害動物・昆虫名鑑編集委員会学会用語委員会	13. 5. 1～
吉松慎一	日本鱗翅学会	将来計画特別委員会	17.12.10～
中谷至伸	日本昆虫学会	電子化推進委員	13. 4. 1～

(8) 同定依頼・技術相談等

件 名	件 数
土壌モノリス作製法・展示に関する相談	2
土壌採取・分析法に関する相談	3
土壌特性に関する相談	14
土壌関係取材	1
昆虫同定	32
昆虫の学名・種名・文献等に関する相談	4
昆虫標本に関する相談	3
昆虫関係取材	4

(9) その他

件 名	期 間
応用動物昆虫学会50周年記念「夏休み昆虫教室」昆虫標本製作指導	17. 8. 19
つくば科学フェスティバル昆虫標本解説	17. 10. 7～8
アグリキッズ科学教室昆虫生態解説	18. 1. 27～28

付 録

在職者とその動き

氏 名	職 名	期 間	備 考
谷山 一郎	センター長	18. 4. 1～	
織田 健次郎	上席研究員	18. 4. 1～19. 3.31	定年退職
上田 義治	〃	18. 4. 1～	
中井 信	〃	18. 4. 1～	
安田 耕司	〃	18. 4. 1～19. 3.31	企画戦略室長
神山 和則	〃	18. 4. 1～	
吉松 慎一	主任研究員	18. 4. 1～	
中谷 至伸	〃	18. 4. 1～	
大倉 利明	〃	18. 4. 1～	
三島 慎一郎	〃	18. 4. 1～	
稲生 圭哉	〃	18. 4. 1～	
戸上 和樹	研究員	18. 4. 1～19. 3.31	東北農業研究センター
原田 直國	契約職員（専門員）	18. 4. 1～19. 3.31	
宮崎 昌久	契約研究員	18. 4. 1～	
矢ヶ崎 泰海	〃	18. 4. 1～18. 7.31	
遠藤 明	〃	18. 9. 1～	
齋藤 猛雄	〃	18.11.13～	
増田 康代	契約職員	18. 4. 1～	
渡辺 寿美子	〃	18. 4. 1～	
木代 玲子	〃	18. 9.25～	
伴 とよ	〃	18. 4. 1～	
井澤 眞知子	〃	18. 4. 1～	
遠藤 寛子	〃	18. 8. 1～19. 3.31	
大山 忍	〃	18. 8. 1～19. 3.31	

(3ヶ月以上在籍者)